

安全に関する改善事例

記入日：平成17年 10月 12日

(所属会社)

(氏名)

(連絡先電話番号)

記入者：

ダム名	所在地県名	発注者	型式	ダム諸元		
				堤高(m)	堤頂長(m)	堤体積(千m3)
岩井川ダム	奈良県	奈良県	G	55	180.9	85
設計・施工区分	工種	想定される事故の種類	想定される事故の要因	危険作業の種類	設計変更の有無	
施工	コンクリートダム堤体工	墜落事故	人的要因、設備要因	高所作業	有：(無)	

改善の概要：
 堤内バルブ室から約35度で設置される放流設備が1m×2.4mの矩形断面でバラ型枠の設計であった。狭隘箇所での型枠や足場の組ばらしに危険が伴い、墜落災害の懸念があった。放流設備部を現場打ちのプレキャストブロックとし、クレーンで据付ながら打設を行った。

特許の有無
 有：(無)

メリット：
 狭隘部の作業がなくなり、安全が確保できた。事前のプレキャスト化による工程の確保。

デメリット：
 設計変更にはならず、矩形の外型枠面積、鉄筋が数量計上されない。

